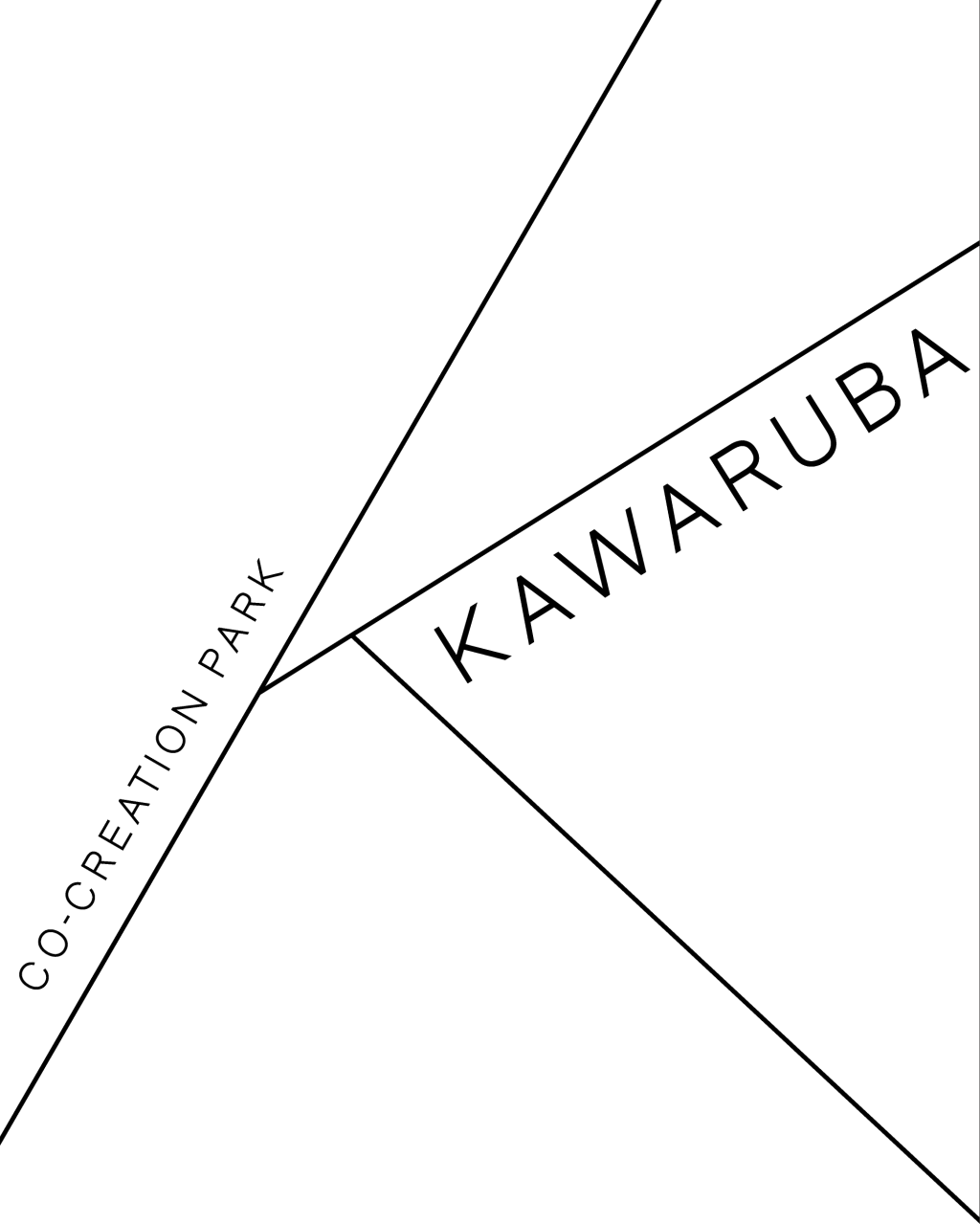




①

全社の重点投資方針

②

防衛事業

③

エネルギー事業

④

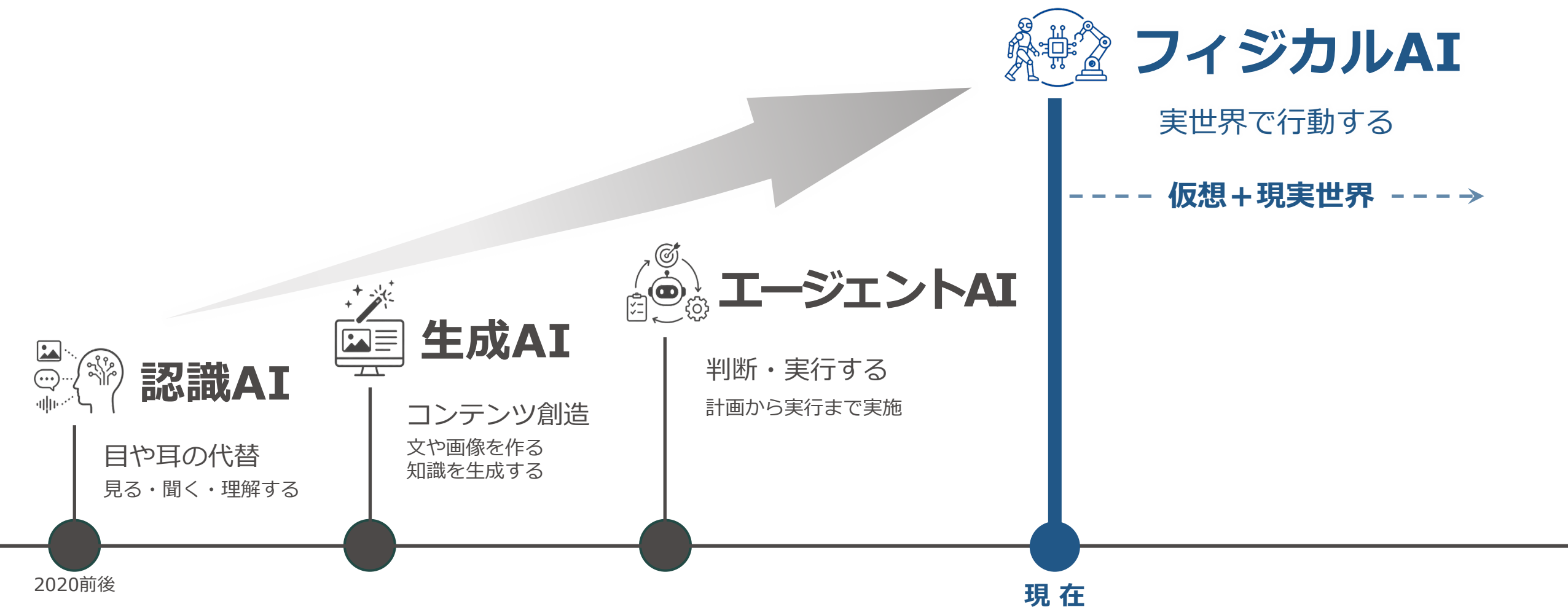
フィジカルAI

安全安心
リモート社会

近未来
モビリティ

エネルギー・環境
ソリューション

AIは発展し、フィジカルAIが登場



AIは発展し、フィジカルAIが登場



フィジカルAI

実世界で行動する

----- 仮想 + 現実世界 ----->

現場のあらゆる社会課題を解決する
ツールの1つとして期待

そして今もAIは加速度的に発展を続けている



目や耳の代替
見る・聞く・理解する

2020前後



コンテンツ創造
文や画像を作る
知識を生成する



計画から実行まで実施

エージェントAI

現在

フィジカルAIの発展には半導体・発電の発展も重要

フィジカルAIが社会実装



製造・物流



モビリティ



医療・介護



農業・環境



小売・サービス



建設・インフラ



家庭・生活



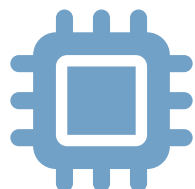
半導体供給



通信



半導体



フィジカルAIの発展に
不可欠な計算資源



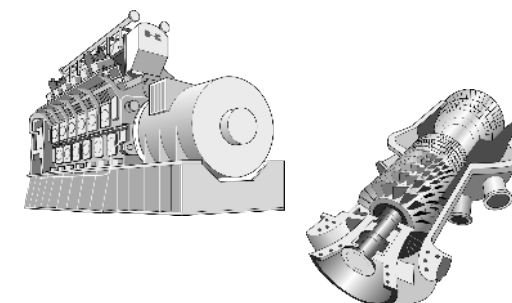
半導体供給

データセンター



電力供給

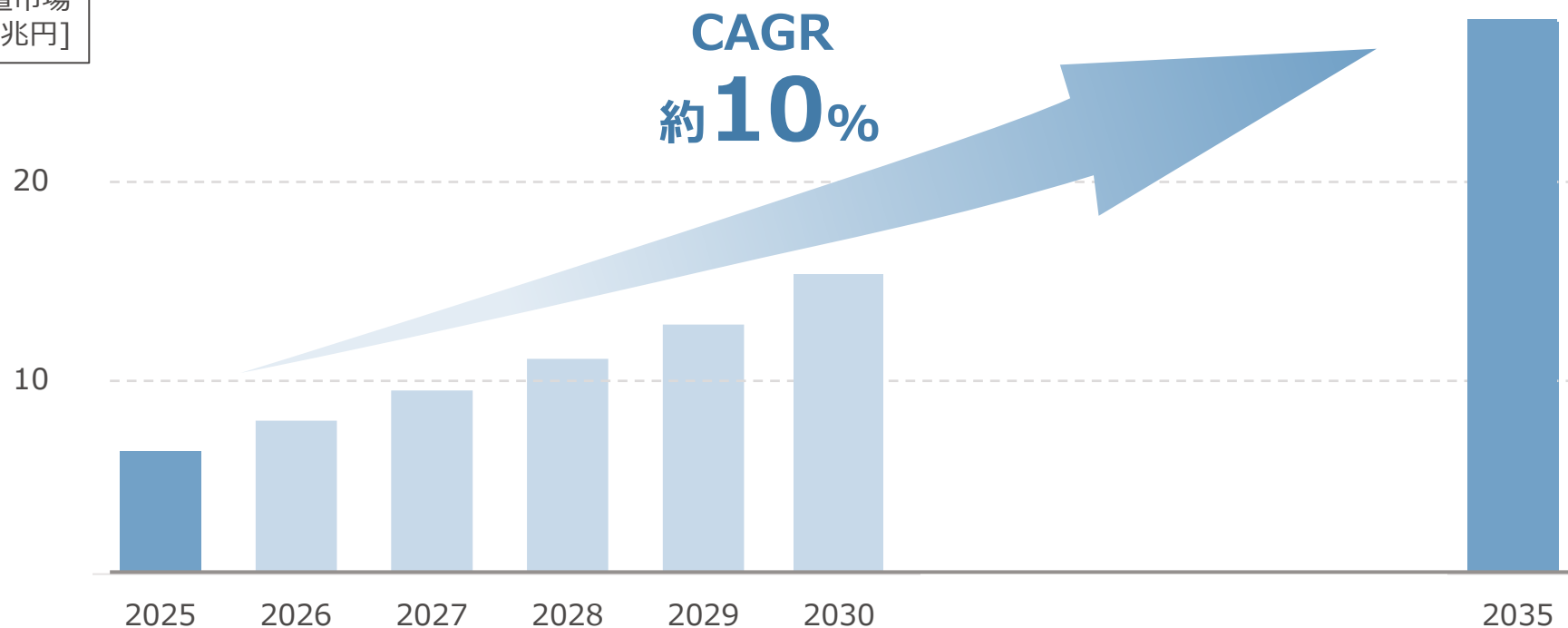
発電



半導体製造装置市況

- 半導体製造装置市場は
2026年以降も、約**10%**/年で成長見込み

半導体製造装置市場
[兆円]



主要顧客のCAGR
約**14%**

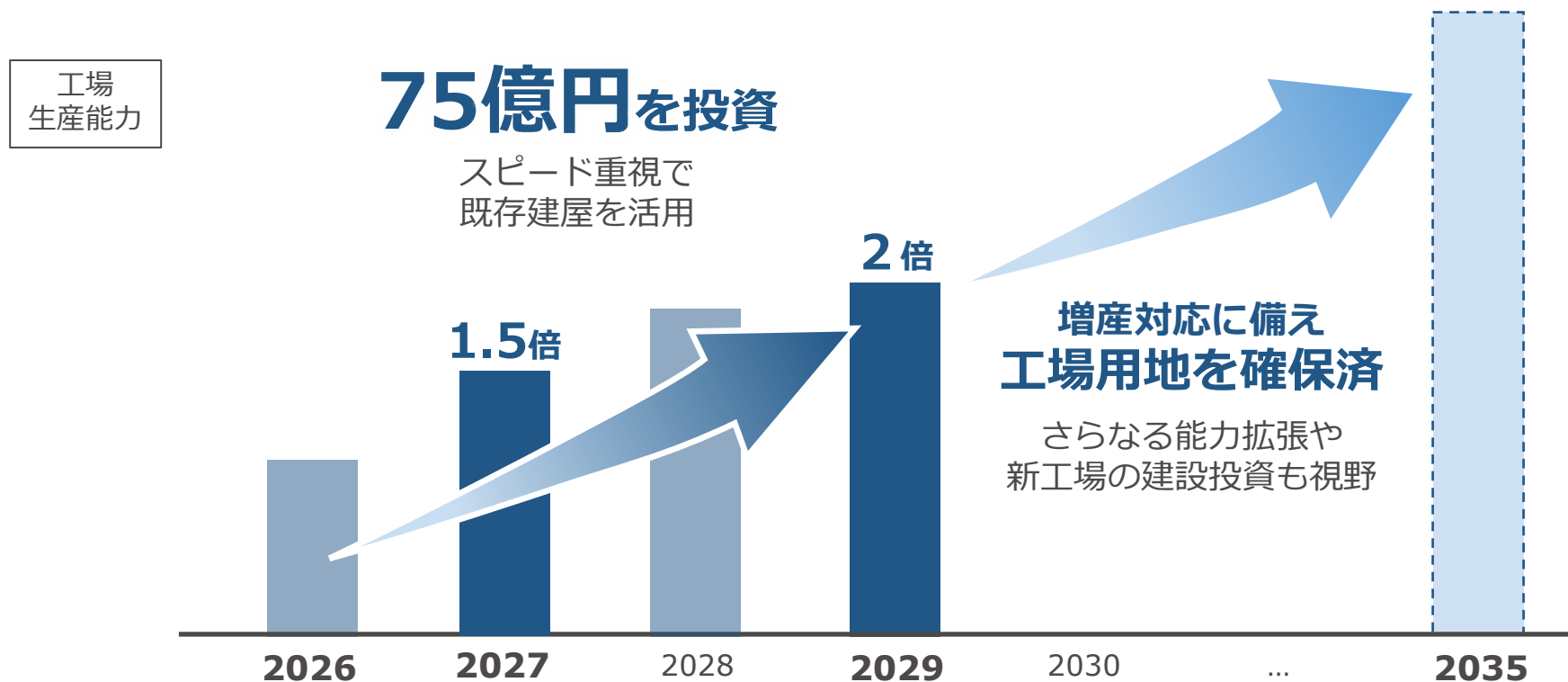
*CAGR：年平均成長率

出典：世界半導体製造装置・試験/検査装置市場年間2026(グローバルネット株式会社)より当社作成

© Kawasaki Heavy Industries, Ltd. All rights reserved

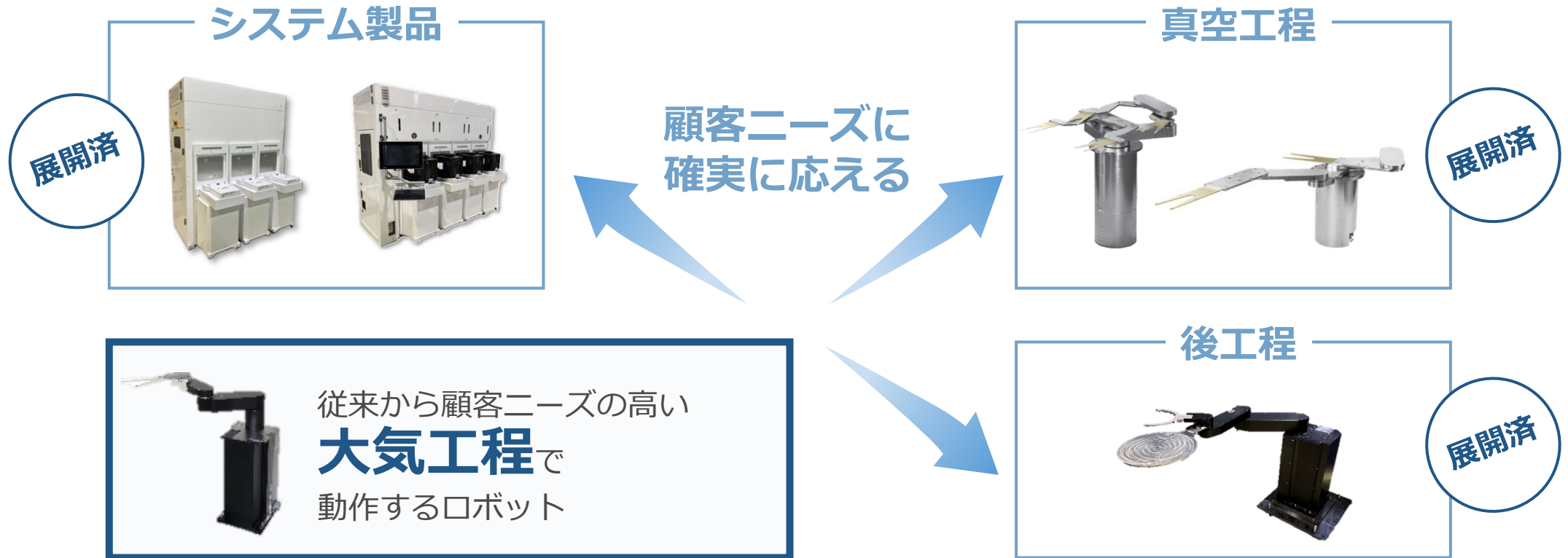
半導体用ロボット事業への投資

- 需要の増加・成長が見込まれる半導体用ロボット市場において、**75億円**を投資
- 2029年度までに**生産能力を2倍**へ増強、需要動向に柔軟に対応



半導体用ロボット量産によるさらなる拡大

- 従来からニーズの高い**大気工程のシェア拡大**に加え、**後工程・真空工程・システム製品への展開をさらに拡大**し、確実に収益を拡大



半導体産業の抱える課題

- 半導体産業は市場成長が見込まれる一方で、“人手不足”も大きな課題に



出典：我が国の半導体関連産業の人材動向(経済産業省)
The Semiconductor Talent Crisis: Why Growing Demand Can't Find Leaders(SEMI)

カセット搬送

ヒューマノイド
の適用イメージ

2026/10/04
日本経済新聞社 記事掲載



パッド交換

産業用ロボット
の適用イメージ



半導体工場におけるフィジカルAI活用

顧客ニーズに応じ、ヒューマノイド・産業用ロボットの両面から対応

チャンバークリーニング

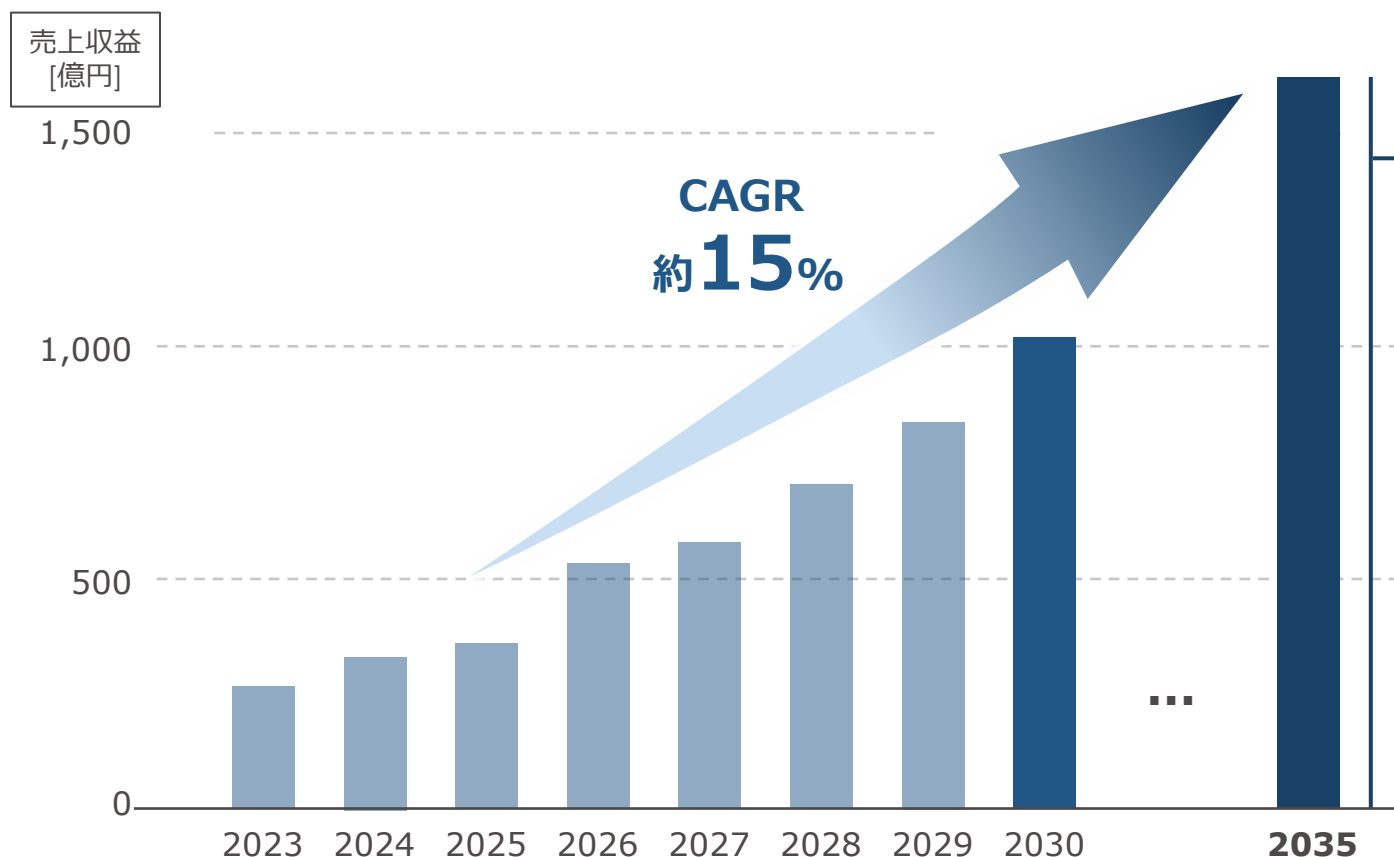


薬液ボトル交換



半導体用ロボット事業の見通し

- 生産能力拡大により需要を確実に取り込み、**早期の収益確保と事業成長を両立**
- 中期的にもCAGR**15%**規模で確実に成長、2035年に売上**1,600億円規模**を実現する



半導体用ロボット
1,600億円

- 展開済みラインナップの規模を拡大



- フィジカルAI活用による
半導体工場の自動化

*CAGR : 年平均成長率